

1 単元について

対 象 学 年	小学校 第 6 学年			
学 習 指 導 要 領	第 5 学年及び第 6 学年の内容 B 書くこと( 1 )ア、イ、オ 言語事項( 1 )オ( ア )			
単 元 名	「目的に応じて書こう」( 全 5 時間 )			
単 元 目 標	<p>目的や意図に応じて、簡潔に書く場合と詳しく書く場合があることを理解し、進んで書き分けようとするができる。 ( 国語への関心・意欲・態度 )</p> <p>目的や意図によって書く事柄が変わり、「簡潔に書く場合」と「詳しく書く場合」を理解し、それぞれ書き分けることができる。 ( 書く能力 )</p> <p>目的や意図を意識して作品を読み合い、よりよい作品になるように書きなおすことができる。 ( 書く能力 )</p> <p>目的や意図によって、文章にはさまざまな構成があることを理解することができる。 ( 言語についての知識・理解・技能 )</p>			
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 個の学習状況に応じた多様な指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ内容や事柄を伝える場合でも、目的や意図によって書き方が違ってくことを実感できるように、簡潔に書く場合と詳しく書く場合の二つのパターンで書き進められるようにしておく。( 行事の場合は、「家の人への招待状」「1年生の子への説明」など。委員会の活動の場合は、「全校への説明」「6年生の子への説明」など )</li> <li>・ 簡潔に書く場合と詳しく書く場合の違いについて、どのような書き方がよりよい紹介になるのかを考えやすくするために、2種類の「委員会紹介」( A-活動内容のみ列挙した例 B-大切なところや複雑で分かりにくいところを事例を挙げて説明している例 ) を提示して比較する。</li> <li>・ 目的や意図に応じて書く事柄を決定することができるように、あらかじめ、一人一人の選んだ事柄を把握しておき、交流活動の中で意図的に交流する相手を位置付ける。 一人一人のよさや進歩の状況の評価結果を学習活動に生かす指導の工夫</li> <li>・ 目的や意図に当てはめて、必要な内容を選んで書いている児童を価値付け、交流活動の中でよい例として広めていく。</li> <li>・ 簡潔に書く場合では、本当に必要な内容を取捨選択し、詳しく書く場合では、事実や事例と自分の考えを区別して記述している児童を価値付け、書き分ける一つの例として全体に位置付ける。</li> <li>・ 仲間の作品を観点をもって読み合い、よく書けているところや直すとよいところを交流している児童を価値付け、自分の作品を見直すときに、仲間との交流で分かったことを直すことができるようにする。</li> </ul> <p>【言語活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽会( 行事 ) について、1年生の子と家の人に紹介文を書くこと</li> </ul> <p>【言語意識】</p> <table border="1" data-bbox="534 1709 1463 1944"> <tr> <td data-bbox="534 1709 991 1944"> <p>( 相手 ) ・ 1年生の子に ( 目的 ) ・ 音楽会を知ってもらうため ( 場面 ) ・ いっしょに読んであげることが想定して ( 方法 ) ・ 簡潔に書いた紹介文で ( 評価 ) ・ 1年生の子に確かめる</p> </td> <td data-bbox="991 1709 1463 1944"> <p>・ 家の人に ・ 音楽会への思いを伝えるため ・ 音楽会の当日に会場で読んでもらうことを想定して ・ 詳しく書いた紹介文で ・ 感想をもらう</p> </td> </tr> </table>		<p>( 相手 ) ・ 1年生の子に ( 目的 ) ・ 音楽会を知ってもらうため ( 場面 ) ・ いっしょに読んであげることが想定して ( 方法 ) ・ 簡潔に書いた紹介文で ( 評価 ) ・ 1年生の子に確かめる</p>	<p>・ 家の人に ・ 音楽会への思いを伝えるため ・ 音楽会の当日に会場で読んでもらうことを想定して ・ 詳しく書いた紹介文で ・ 感想をもらう</p>
<p>( 相手 ) ・ 1年生の子に ( 目的 ) ・ 音楽会を知ってもらうため ( 場面 ) ・ いっしょに読んであげることが想定して ( 方法 ) ・ 簡潔に書いた紹介文で ( 評価 ) ・ 1年生の子に確かめる</p>	<p>・ 家の人に ・ 音楽会への思いを伝えるため ・ 音楽会の当日に会場で読んでもらうことを想定して ・ 詳しく書いた紹介文で ・ 感想をもらう</p>			
参 考 資 料	資料 1 : 第 1 時 ~ 5 時の学習プリント			

2 単元の評価規準

	ア 国語への関心 ・意欲・態度	ウ 書く能力	オ 言語についての知識・理解 ・技能
内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、書く必要のある事柄を整理したり、文章全体の組立てを工夫したりして、効果的に書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書いている。</li> <li>・全体を見通して、書く必要のある事柄を整理している。</li> <li>・自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えている。</li> <li>・事象と感想、意見などを区別して書いている。</li> <li>・目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりしている。</li> <li>・表現の効果などについて確かめたり工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書いている。</li> <li>・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。</li> <li>・表現するために必要な語句について辞書を利用して調べる習慣を付けている。</li> <li>・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、活用している。</li> <li>・日常よく使われている敬語の使い方に慣れている。</li> <li>・文字の形、大きさ、配列などを理解して、読みやすく書いている。</li> </ul>
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、簡潔に書く場合と詳しく書く場合があることを理解し、効果的に書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の人に紹介する目的や意図に応じて、簡潔に書く場合と詳しく書く場合があることを理解し、書く事柄を整理している。</li> <li>・書く目的や意図に応じて、効果的な表現になっているかを確かめたり工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを明確に表現するためのさまざまな段落の組立て方を理解し、文章を書く際に目的や意図に応じて活用している。</li> <li>・日常よく使われている敬語の使い方に慣れている。</li> </ul>
単位時間における具体の評価規準	<p>委員会や行事の紹介文を書くことへの意欲を高めている。</p> <p>文章を書く時に大切にしてきたことやこれから気を付けて書くことよいことを出し合い、自分なりのめあてを持っている。</p> <p>目的や意図に応じて、簡潔に書く場合と詳しく書く場合があることを知り、目的や意図に応じて書き分けようとしている。</p> <p>自分の書き方を振り返り、書くことに対して自分の生活に生かそうとしている。</p>	<p>学校生活のことを、身近な人に紹介するために、自分が一番書きたい大切なことや伝えたい題材を明確にしている。</p> <p>目的や意図に応じて簡潔に書く場合と詳しく書く場合とを判断し、書く事柄を整理しながら、内容や事柄を取捨選択している。</p> <p>読み手を意識して、文章全体の組立てを考えたり、書き表し方に注意して記述したりしている。</p> <p>目的や意図がはっきりした紹介文になるように、仲間の作品を読み合い、分かりやすく書き直している。</p>	<p>読み手にとってより分かりやすい紹介文にするために、意見と事例を分けて書いたり、事例を簡条書きにして書いたりしている。</p> <p>目的や意図に応じて敬語を使ったり、簡潔な言葉を使って書いている。</p>

3 指導と評価の計画 < 全 5 時間 >

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	<p>目的や意図に応じるためには、委員会や行事の紹介文を簡潔に書く場合と詳しく書く場合があることを知り、書き方や内容についての目標をもつことができる。</p>	<p>委員会の紹介文を読み、委員会の紹介や行事の紹介を周囲の人に伝えることを知る。</p> <p>2種類の「委員会紹介」を読み、共通点や相違点について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>紹介文を読み、目的や意図に応じて書き方や内容がどのように変わるのか考えよう。</p> </div> <p>これまでに学習してきた「書くこと」での大切なことやこれから気を付けていくとよいことを発表する。</p> <p>書き方についてできるようになりたいことを考え、自分の課題をもつ。</p> <p>自分たちの生活の中で、どんな場面が想定できるかを考え、発表し合う。</p>	<p>アー 委員会や行事の紹介文を書くことへの意欲を高めている。</p> <p>アー 文章を書く時に大切にしてきたことやこれから気を付けて書くことよいことを出し合い、自分なりのめあてをもっている。</p>	<p>観察・自己評価表 自分の委員会の仕事や行事の内容を周囲の人にどのように伝えようか考えている姿を観察したり、自己評価表を確認したりする。</p> <p>学習プリント 書き方についての願いやめあてを書いているか評価する。</p>	<p>五つの言語意識を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何のために誰にどのように書いていけばいいのか、自分なりの考えをもつことができるようにする。</li> </ul> <p>2種類の教材文を提示することにより、簡潔に書く場合と詳しく書く場合について理解できるようにする。</p> <p>書く時に大切にしてきたことやこれから気を付けて書くことよいことを発表させ、めあてとして位置付ける。</p>
2	<p>音楽会（行事）の紹介文を、目的や意図に応じて簡潔に書く場合と詳しく書く場合とに書き分けることを知り、書く題材を決めることができる。</p>	<p>前時の二つの紹介文を想起し、それぞれについて「相手」「目的」は何か発表し合い、目的や意図が違っていると書きぶりも違ってくることを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>目的や意図をはっきりさせて、音楽会(行事)の紹介文に書きたい内容を決めよう。</p> </div> <p>簡潔に書く場合と詳しく書く場合の両方について、それぞれ「相手」「目的」を書き込む。</p> <p>音楽会の紹介文に書きたい内容を書き込む。</p> <p>書き込んだ題材を発表し合い、目的や意図に応じて簡潔に書いたほうが効果的なのか詳しく書いたほうが効果的なのかを交流する。</p> <p>グループ交流 全体交流を通して、自分の書くものがより効果的になるように直す。</p>	<p>アー 目的や意図に応じて簡潔に書く場合と詳しく書く場合があることを知り、目的や意図に応じて書こうとしている。</p> <p>ウー 学校生活のことを、身近な人へ紹介するために、自分が一番書きたい大切なことや伝えたい題材を明確にしている。</p>	<p>観察・自己評価表 目的や意図が違っていると書きぶりも違っていると理解しているか観察し、自己評価表で確認する。</p> <p>学習プリント 相手や目的をはっきりさせて、題材が適切に書かれているか評価する。</p>	<p>目的や意図に応じて書きぶりも違ってくることが理解できるように、二つの教材文が何のために誰に向けて書かれているか交流する場を設ける。</p> <p>二つの場合について紹介文を書くことを明らかにし、書きぶりの違う紹介文を書く必然性をもたせるようにする。</p>
3 本 時	<p>音楽会（行事）の紹介文を、目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりするためには、どんな内容をい</p>	<p>前時までの二つの紹介文を想起し、「相手」や「目的」に応じて書きぶりが違っていることを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>目的や意図に応じて、音楽会の紹介文に書く内容を選ぼう。</p> </div> <p>簡潔に書く場合については、音楽会の内容や大切なことを選んで書くことを、詳しく書く場合については、大切なことを</p>	<p>ウー 目的や意図に応じて簡潔に書く場合と詳しく書く場合を判断し、書く事柄を整理しながら、内容や</p>	<p>観察・発言 ・学習プリント 「相手」「目的」に応じて、書く事柄を整理して、選び出しているかどうか評価</p>	<p>簡潔に書く場合と、詳しく書く場合の違いの意識がしっかりともてるように、もう一度自分の学習プリントを見て、相手や目的を確認してから書かせるようにする。</p> <p>取材したものを、</p>

	<p>くつ選ぶことなのかが分かり、仲間と交流しながら目的や意図に応じて書く事柄を選び出すことができる。</p>	<p>詳しく説明することや事実とそこから感じる自分の意見を区別して整理して書くことを理解する。(箇条書きで書くこと)</p> <p>大切なこと、事実、意見、などを整理して選び出す。</p> <p>仲間同士で交流し、よいところを見付けたりよりよくするといいところを出し合う。</p>	<p>事柄を取捨選択している。</p> <p>オー読み手にとってより分かりやすい紹介文にするために、意見と事例を分けて書いたり、事例を箇条書きにしている。</p>	<p>する。</p> <p>学習プリント 色分けなどのカードを用いて、意見と事例を分けていたり、箇条書きにしているか評価する。</p>	<p>カードに記入できるようにしておき、組み合わせを考えたり取捨選択したりできるようにしておく。また、取捨選択している児童を価値付ける。</p>
4	<p>目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりするためには、音楽会(行事)の紹介文について組立てを考えるとよいことが分かり、構成表を作り、読み手を意識して書き表し方に注意して記述することができる。</p>	<p>前時の選び出した事柄をもとに自分の構成表を作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>音楽会(行事)の紹介文を分かりやすく直して書こう。</p> </div> <p>自分で納得いくまで、手直しや交流を行い、自分の判断で記述する。</p> <p>書き上げた時点で、仲間同士で交流し、よいところを見付けたりよりよくするといいところを出し合う。</p>	<p>ウー読み手を意識して文章全体の組立てを考えたり、書き表し方に注意して記述したりしている。</p> <p>オー目的や意図に応じて、敬語を使ったり、簡潔な言葉を使って書いている。</p>	<p>学習プリント 仲間の助言を取り入れたりよさを認めたりしながら、自分の構成表をよりよくしているか評価する。</p> <p>清書用紙 敬語を使ったり、簡潔な言葉を使ったりして書いているか評価する。</p>	<p>「題材別」「相手別」「目的別」に、机列表を準備しておき、児童がそれを見て交流の相手を見付けることができるようにする。</p> <p>自分なりに直した方がよいと思うところを朱で書きこんでいき、それをもとに記述していくことができるようにしていく。</p>
5	<p>目的や意図に応じてより分かりやすい紹介文になるためには、交流を通してよりよくするとよいことが分かり、発表会を通して確認することができる。</p>	<p>簡潔に書く場合と詳しく書く場合の違いについて発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>相手や目的に応じた紹介文の発表会をしよう。</p> </div> <p>書いたものをグループ内で交流し、よいところを見付けたり、直すところを助言したりする。</p> <p>全体で交流し、よく書けているところを出し合う。</p> <p>本単元での自分の学習を振り返り、書くことに対する成長点を自覚するとともに、これからの課題をもつ。</p>	<p>ウー目的や意図がはっきりした紹介文になるように、仲間の作品を読み合い、分かりやすく書き直している。</p> <p>アー自分の書き方を振り返り、書くことに対して自分の生活に生かそうとしている。</p>	<p>観察・自己評価表 グループ内での交流で、仲間の作品に対して観点をもとにして評価しているかどうか観察し、自己評価表を確認する。</p> <p>学習プリント 自分の作品を正しく評価する振り返りとなっているか評価する。</p>	<p>仲間の作品のよいところや直すところを助言している児童を価値付ける。</p> <p>全体で紹介できる児童を指名し、価値付ける。</p> <p>これまでの学習をもとに、顕著に成長が見られた児童を紹介し、価値付ける。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・音楽会（行事）の紹介文を、目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりするためには、どんな内容をいくつ選ぶことなのかが分かり、仲間と交流しながら目的や意図に応じて書く事柄を選び出すことができる。

(2) 本時の位置

3 / 5 時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	形態	評価について	指導・援助
導入	<p>前時までの学習事項について、2種類の教材文を提示して確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡潔に書く場合... 1年生の子に向けて、全く知らない子に向けて ...仕事の内容を 行事の紹介を</li> <li>・詳しく書く場合... 家の人に向けて、同じ6年生の子に向けて ...仕事の引き継ぎを 行事に向かってがんばってきたことを</li> </ul>	学級全体		2種類の教材文をもとに、簡潔に書く場合と詳しく書く場合が、それぞれ「相手」や「目的」によって決められていることを確認できるようにする。簡潔に書く場合と詳しく書く場合の違いについて、内容の大体を伝えるか、より具体化するかという判断で行えるようにする。
展開	<p>目的や意図に応じて、音楽会の紹介文に書く内容を選ぼう。</p>			
	<p>書く事柄を選ぶのに気を付けるとよいこと、大切にするとよいことを発表し合う。</p> <p>&lt;簡潔に書く場合&gt; ... 1年生の子に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽会というのはどういうものなのかという説明（大切なこと）</li> <li>・音楽会の概要（内容の簡単な説明）</li> </ul> <p>&lt;詳しく書く場合&gt; ... 家族に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽会における自分の気持ち（大切なこと）</li> <li>・自分の意見や気持ちの根拠となる事実や出来事（気持ちの詳しい説明）</li> </ul> <p>上の選び出す観点をはっきりさせて、1年生の子に向けた紹介文と家族に向けた紹介文の書く事柄を選び出す。</p> <p>ペアを見つけて選び出したものの交流を行う。</p>	学級全体	ウー 目的や意図に応じて簡潔に書く場合と詳しく書く場合とを判断し、書く事柄を整理しながら内容や事柄を取捨選択している。	取材したものを、カードに記入できるようにしておき、組み合わせを考えたり、取捨選択したりできるようにしておく。また、取捨選択している児童を全体に紹介する。
	<p>相手によって、ペアを作る。 ペアで交互に選び出したものを読み合う。 分かりやすいところや直すとよいところを助言し合う。 自分の選び出したものを見直す。</p> <p>～ を繰り返し、自分の納得のいくところまで行う。</p> <p>全体で代表者が発表する。</p>	個人  ペア	・観察・発言・学習プリント「相手」「目的」に応じて、書く事柄を整理して、選び出しているかどうか評価する。 オー 読み手にとって分かりやすい紹介文にするために、意見と事例を分けて書いたり、事例を箇条書きにして書いている。	1年生の子に書く場合は、同じ縦割りの班のペアの子と交流できるようにし、家族に書く場合は、同じ目的別の児童同士で交流できるようにする。  ペアでの交流を通して、自分なりに直したほうがよいと思うところを朱で書きこんでいる児童をモデルとして全体に紹介する。
終末	<p>本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントに本時できるようになったことと次時への課題を明らかにする。</li> </ul>	学級全体  個人	・学習プリント色分けなどのカードを用いて、意見と事例を分けて書いたり、箇条書きにしているか評価する。	あらかじめ、机間指導の中で全体に紹介するとよい児童を見つけておき、全体へ広めることができるようにする。  児童の自己評価プリントを学習後に回収し、朱筆で教師による評価を行う。

## 5 評価の実際と個に応じた指導事例

### (1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<ウー >

目的や意図に応じて簡潔に書く場合と詳しく書く場合とを判断し、書く事柄を整理しながら内容や事柄を取捨選択している。

### (2) 個に応じた指導の実際

音楽会（行事）についての紹介文を1年生の子と保護者に向けて書くために、書く事柄や内容を選んでいる姿を「おおむね満足できる状況」にあるととらえた。選ぶ際に、1年生の子に対しては、「音楽会とはどういうものなのか」という説明（大切なこと）」と「音楽会の概要」という視点をもって、小さい子にも分かりやすく簡潔に書く必要性をもたせた。一方、保護者に対しては、これらに加え、「音楽会における自分の気持ち（大切なこと）」や「自分の気持ちの根拠となる事実や出来事」という視点をもって、音楽会についての思いや意気込みを説明するために詳しく書く必要性をもたせた。

選ぶ事柄や内容を、目的や意図に応じて決め出しきれていない姿を「努力を要すると判断した状況」にあるととらえた。この要因としては、1年生の子や保護者に応じて、音楽会の何を紹介するのが理解できておらず、それぞれの立場に立って書く事柄を選んでいないためと考えられる。

- ・ A男は、1年生の子に対して、「音楽会における自分の気持ちや意気込み」を選んでいった。そこで、前時までに学習した2種類の紹介文を、改めて比べて考えるように促し、要点のみを簡潔に書くことのよさをつかむことができるようにした。しかし、相手に読んでもらうということよりも自分の気持ちを伝えたい意思の方が強く、なかなか理解できなかった。そこで、縦割り班で、同じ1年生の子に紹介する仲間とペアで交流する場を設け、紹介する相手の1年生の子の様子を想起できるようにした。
- ・ B子は、保護者に対して、「音楽会の概要」などすでに周知の事柄を選んでいった。また、ほぼ同じ内容を1年生の子に対しても選んでいた。そこで、言語意識について立ち返る場をもち、保護者に対して一番伝えたい事柄、1年生の子に対して一番伝えたい事柄をそれぞれ考えさせた。そして、1年生の子には「音楽会の内容を知ってもらうため」、保護者には「音楽会への思いや意気込み」を伝えるという目的を改めて確認した。また、A男と同様に、仲間とのペアでの交流の中で、「音楽会における保護者の思い」という立場で交流し合い、自分の紹介文が相手の立場に立っていないことに気付くことができるようにした。

### (3) 授業後の評価

- ・ A男は、最終的に1年生の子に対して、「音楽会の概要」「音楽会の目的」を、保護者に対しては「音楽会の目的」「例年との違い」「見所や意気込み」と、相手や目的に応じて、簡潔にしたり詳しくしたりして、事柄を選ぶことができた。そこで、A男の評価を「B」とした。
- ・ B子は、最終的に目的や意図に応じて書く事柄が変わることを理解した。1年生の子に対しては、「初めて音楽会を経験する子に音楽会の楽しさを知ってもらいたい」という目的をはっきりもち、そのために「音楽会の目的」「音楽会の楽しさ」「いっしょに音楽会を作り上げようとする呼びかけ」を選ぶことができた。また、保護者に対しては「最後の音楽会に向けての気持ちを伝え、音楽会で聴いて欲しい点を伝えたい」という目的をはっきりもち、そのために「自分の成長したところ」「これまでの取り組み」「見所や意気込み」を選ぶことができた。そこで、B子の評価を「A」とした。

目的に応じて書こう

( ) 番

( )

単元の目標

目的や意図に応じて、簡潔に書いたりくわしく書いたりしよう。

課題

二種類の「委員会の紹介文」を読んで、その共通点や相違点を考えよう。

【共通点】

【相違点】

単元の言語意識

【相手】 …… 一年生の子に

【目的】 …… 音楽会の内容を知ってもらうため

【場面・状況】 …… いっしょに読んであげることを想定して

【方法】 …… 簡潔に書いた紹介文で

【評価】 …… 一年生の子に聞いてみる

【相手】 …… お家の人に

【目的】 …… 音楽会への思いを伝えるため

【場面・状況】 …… 当日に会場で読んでもらうことを想定して

【方法】 …… くわしく書いた紹介文で

【評価】 …… 感想をもらう

この単元でできるようにしたいこと

Blank box for notes or observations.

自分から進んで学習に取り組めたか。  
教材の違いを見つけてきたか。  
単元の見通しを持つことができたか。

Blank box for evaluation.

「委員会の紹介文」

A

飼育委員は、学校で飼っている動物の命を預かる、大切な仕事を任されています。  
飼育委員の仕事は、えさをやること、水をやること、飼育小屋のそうじ、動物の健康状態の確にん、飼育日誌をつけることです。

B

飼育委員は、学校で飼っている動物の命を預かる、大切な仕事を任されています。  
ふだんの仕事は、えさをやること、水をやること、飼育小屋のそうじ、動物の健康状態の確にん、飼育日誌をつけることです。  
動物の健康状態については、動物病院の先生から、次のような注意点をうかがいました。参考にしてください。  
えさや水のやり方、そうじのしかたは、その後に書きます。  
・ なみだや目やには出ていないか。  
・ 耳はよごれていないか。  
・ 鼻水は出ていないか。  
・ 呼吸の音はおかしくないか。  
・ えさはきちんと食べているか。  
・ げりはしていないか。  
・ 傷やはれたところはないか。

目的に応じて書こう

( ) 番

( )

単元の目標

目的や意図に応じて、簡潔に書いたりくわしく書いたりしよう。

課題

音楽会の紹介文の相手と目的

・相手 ( ) ( )

( ) ( )

( ) ( )

・目的 ( )

( ) ( )

( )

( ) ( )

書きたい内容をできるだけ書き出そう。

Large empty rectangular box for writing the introduction text.

本時の学習を振り返って

Empty rectangular box for reflection on the lesson.

自分から進んで学習に取り組めたか。	
書きたい内容を書き出せたか。	
仲間と交流して見直すことができたか。	

Empty rectangular boxes for marking the reflection table.

単元の目標

目的や意図に応じて、簡潔に書いたりくわしく書いたりしよう。

課題

音楽会の紹介文の相手と目的

(相手)

(目的)

に

ために

音楽会の紹介文に書く内容

(相手)

(目的)

に

のために

本時の学習を振り返って

自分から進んで学習に取り組めたか。  
相手や目的に応じて、内容を選べたか。  
仲間と交流して見直すことができたか。